

おおさかし だ かた 大阪市の ごみの 出し方

ごみは わけて なか が見える ふくろ に 入れて 出します。



ごみの ことで わからないときは、でんわ を かけて ください。

☎ : 06-6567-0750

だ じかん ひ ごみを 出す時間 と 出す日

◆あさ 朝 8時30分までに 決まっている 場所に 出します。

(よる 夜に 出したら だめです!! どうぶつ 動物が、た もの 食べ物を さがします。)

◆ごみを 出す日は、でんわ で 聞いて ください。

☎ : 06-6567-0750



ごみの わけ方 かた

- しげん 資源ごみ (しゅうかん 1週間に かい 1回です。)
- ようきほうそう 容器包装プラスチック (しゅうかん 1週間に かい 1回です。)
- こし 古紙、いるい 衣類 (しゅうかん 1週間に かい 1回です。)
- ふつう 普通ごみ (しゅうかん 1週間に かい 2回です。)
- そだい 粗大ごみ
- おおさかし 大阪市が あつ 集めない ごみ

しげん
資源ごみ

しげん
資源ごみ：びん、ペットボトル、

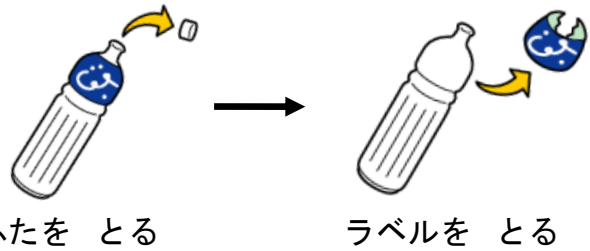
きんぞく
金属でできた物（缶、やかん、なべ鍋など）



しげん
『資源ごみ』を出すときの注意！！

◆「ペットボトル」は

ふたと ラベルを とります。



◆洗ってから 出します。





◆「スプレー缶」、「ガスの缶」を出すとき

つか
使いきってから あなをあげずに 出してください。

しげん
資源ごみとは 別の 中が 見える 袋に 入れてください。


しげん
「資源ごみ」で出します。



●   は、「容器包装プラスチック」で出します。
ふた ラベル

● ペットボトルには、 の絵があります。

ようきほうそう
容器包装プラスチック

ようきほうそう
「容器包装プラスチック」には、の絵があります。



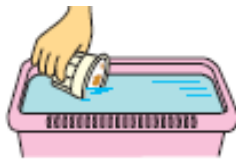
ようきほうそう
『容器包装プラスチック』を ^だ出すときの ^{ちゅうい}注意！！

◆ ^{なか}中に ^{もの}物が ^{のこ}残っているときは、^{つか}使いきってから ^だ出します。

◆ よごれているときは、

^{あら}洗ってから ^だ出します。

(^{しょつき}食器を ^{あら}洗ったあとに ^{のこ}残っている水を ^{つか}使しましょう。)



^{あら}洗う → ^だ出す

◆ ^{あら}洗っても よごれが とれないものは、「^{ふつう}普通ごみ」で ^だ出します。

こし いるい
古紙、衣類

①から⑥の種類に わけて 出して ください。

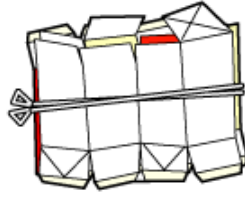
こし かみ
・古紙 (いらなくなった 紙)



① 新聞・折込チラシ



② 段ボール



③ 紙パック



④ 雑誌



⑤ その他の紙

いるい ふく
・衣類 (いらなくなった 服)



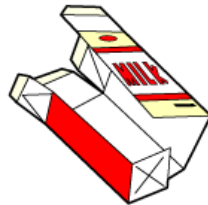
⑥ 衣類

こし いるい だ ちゅうい
『古紙』『衣類』を 出すときの 注意！！

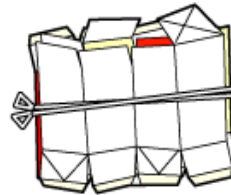
◆ 「紙パック」を 出すとき



あらう
洗う



ひら 開いて
かわ 乾かす



むす
結ぶ



だ
出す

◆ 「その他の紙 (紙の箱 紙の袋 コピーの紙 など)」を 出すとき



あつ
集める



ふくろ
袋に 入れる



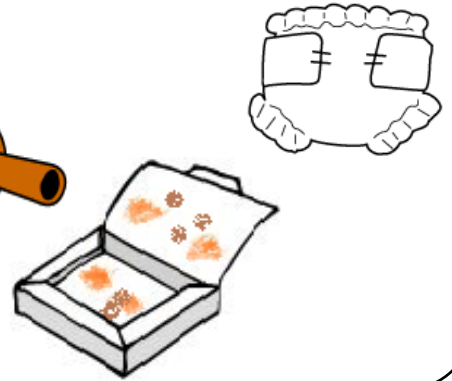
だ
出す

◆ 衣類 (いらなくなった 服) は 洗濯して 乾かしてから 中が 見える 袋

に 入れて 出して ください。

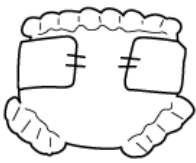
◆ よごれている ときは、「普通ごみ」で 出します。

ふつう
普通ごみ



ふつう 『普通ごみ』を 出すときの ちゅうい 注意！！

◆「おむつ」を 出すとき



出す

ふくろ 袋に 入れる

◆われた物を 出すとき (けがに 気を付けて ください。)



われた 物の



かみ 紙で つつ 包む

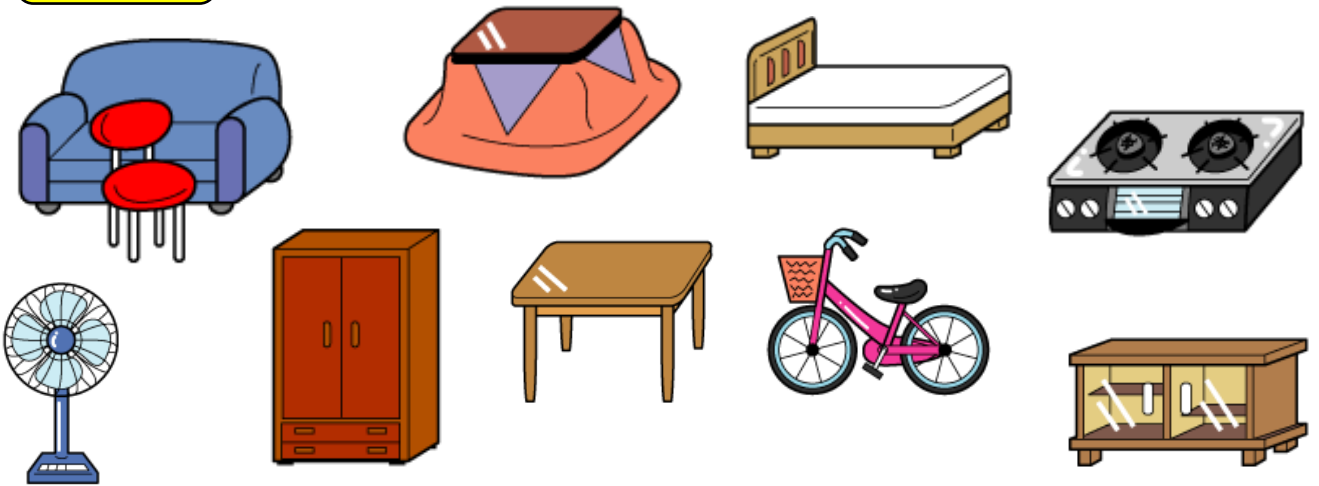


きけん と 書く



出す

そだい
粗大ごみ



そだい
『粗大ごみ』を だ
出す とき

たて よこ たか えん ちよっけい のうち いちばんなが
高さ 円の直径 のうち 一番長いところが 30センチメートルより
なが
長いもの または 1メートルより長い ぼう かたち
棒の形のもの。

①、②、③、④、⑤のことを してください。

② そだい しゅうしゅううけつけ でんわ
「粗大ごみ 収集 受付センター」に 電話を する。

または、ホームページ「そだい しゅうしゅううけつけ ひら
粗大ごみ 収集 受付システム」を開く。

でんわ つた か
電話で 伝えること、ホームページに書くこと。

- 「^す住んでいるところ」
- 「^{なまえ}名前」
- 「^{でんわばんごう}電話番号」
- 「^{だ もの}出す物」
- 「^{だ もの おお}出す物の 大きさ」



☎ : 0120-79-0053 (けいたいでんわ
携帯電話からは つながりません)

☎ : 0570-07-0053 (おおさかしない つうわりようきん ひつよう
大阪市内エリアへの通話料 金が必要 です)

ごぜん じ ごご じ にちようび やす
午前 9時 から 午後5時 まで。(日曜日は お休みです。)

HP : <https://s-kantan.com/kankyo-osaka-u/> (じかん にち
24時間、365日、いつでも)

③ ^{でんわ}電話で ^き聞くこと。

● 「^{ごみ}を ^だ出す日」

● 「^{ばんごう}番号」

● 「^{そだい}粗大^{しよりてすうりようけん}ごみ処理手数料券【^{ごみ}を ^だ出すための ^{けん}券】に ^{ひつよう}必要な ^{かね}お金」

④ 【^{ごみ}を ^だ出すための ^{けん}券】を ^か買いに ^い行く。

^{ひつよう}必要な ^{かね}お金が、^だ出す物で ^{ちが}違います。

【^{ごみ}を ^だ出すための ^{けん}券】を ^う売っているところには、^え絵が ^ああります。

^{ゆうびんきょく}
(郵便局、コンビニ、スーパーマーケットなど)



⑤ 【^{ごみ}を ^だ出すための ^{けん}券】に ^{なまえ}名前 ^{または}または ^{ばんごう}番号を ^か書く。

みえる ^ところに ^は貼ります。



⑥ ^{ごみ}を ^だ出す日の ^{あさ}朝 ^じ8時^{ふん}30分までに ^{ごみ}を ^だ出す。

★『^{そだい}粗大^{ごみ}』を ^だ出すときは、必ず ^{かなら}①か②のことをしてください！！

① ^{でんわ}電話

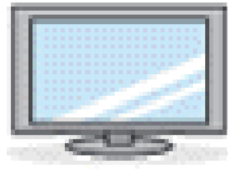
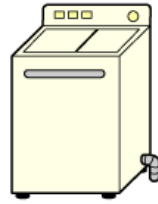
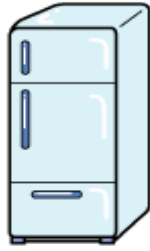
☎ : 0120-79-0053 (^{けいたい}携帯電話からは ^{つな}がりません)

☎ : 0570-07-0053 (^{おおさかし}ない ^{つうわり}ょうきん ^{ひつよう} (大阪市内エリアへの通話料金が 必要です))

② ホームページを開く

HP : <https://s-kantan.com/kankyo-osaka-u/> (^{じかん}24時間、^{にち}365日、いつでも)

おおさかし
大阪市が あつめない ごみ



◆ ^か買った ^{みせ}お店の ^{ひと}人に ^き聞いて ください。

つく
作ったところ： ^{おおさかし}大阪市 ^{かんきょうきょく}環境局

じゅうしょ ^{おおさかし} ^{あべのく} ^{あべのすじ}
住所：大阪市 阿倍野区 阿倍野筋 1-5-1 あべのルシアス ^{かい}13階

でんわばんごう
電話番号：06 - 6630 - 3121

^{ばんごう}
ファックス番号：06 - 6630 - 3580

◆-----◆
ごみの イラストの ^{おお}多くは、「^{けいざいさんぎょうしょう}経済産業省 ^{せいさく}3R政策」の ホームページから

^{つか}使っています。 <http://www.meti.go.jp/policy/recycle/index.html>